

WESTIMES

西高新 eco プロジェクト始動！！

この度、姫路西高校は新たなエコ活動の一貫として HOYA 株式会社アイケアカンパニー企画の【アイシティ eco プロジェクト】に参加しました。

●アイシティ eco プロジェクトとは

簡潔に言うと、使い捨てコンタクトレンズの空ケースを収集し、有効活用する取り組みです。使い捨てコンタクトレンズの空ケースは、メーカー問わず全てポリプロピレンという素材で作られており、非常にリサイクルに適しています。そのため、コンタクトレンズを販売するアイケアカンパニーは、この活動をスタートさせました。その後2013年より様々な企業、学校、自治体と活動してコンタクト空ケースをしております。しかし、空ケースのリサイクル比率は未だ全体の1%未満にすぎません。

●西高での具体的な取り組み

生徒昇降口に回収BOX（大）を、本館各トイレに回収BOX（小）を設置しました。生徒の皆さんはこの活動へのご協力をお願いします。空ケースをBOXに入れる際は、下図のようにアルミシールを完全にはがすようお願いします。一人一人がエコの精神を持つことが私たちの目指す持続可能な社会へきっとつながるでしょう。



生徒昇降口前の回収BOX（大）

！注意事項1

空ケースのアルミシールは極力完全にはがしてください。（購入場所やメーカーを問わず、ほぼすべての使い捨てコンタクトレンズ空ケースが回収できます。）



アルミシールもレンズも残っていない

アルミシールが残っている

レンズが残っている



本館手洗い場の回収BOX（小）

●プロジェクトの意義

「アイシティ eco プロジェクト」は3つの社会貢献につながっています。



空ケースの再資源化による環境保全

ゴミとして燃やしてしまうのではなく、リサイクルを行うことでCO2排出量を削減します。再資源化された安価な材料は、様々な製品に生まれ変わります。



使い捨てレンズ空ケース

リサイクル工場
粉々に粉砕されます

加工され、再生ポリプロピレン
素材へと変身します

様々なリサイクル製品に
生まれ変わります



障がい者の自立・就労支援

アイシティの障がい者部門「市川チャレンジオフィス」では店舗や眼科で回収された空ケースのアルミシールをはがすなど、リサイクルの支援業務を行っています。

また、全国の社会福祉施設で作られた手作り小物を年間8万個買い取り、ご協力いただいたお客様へ、お礼としてアイシティ店舗にてプレゼントしています。この手作り小物は、地産地消をすることで、より地域社会に貢献していきたいと考えています。



▲ 手作り小物制作中の様子



▲ 市川チャレンジオフィスの作業風景



日本アイバンク協会への寄付

空ケースをリサイクル業者に買い取っていただいた収益を全額日本アイバンク協会に寄付しています。

アイバンクは角膜の病気による視力障害の方の視力回復のために、角膜移植を待つ方とドナーの架け橋の役目を果たしています。アイバンクへの献眼登録の普及活動や献眼希望者が亡くなった時に角膜の摘出医を手配する活動を行っています。

※(公財)日本アイバンク協会とは

角膜移植が必要な方が、視力を取り戻すことができるよう、角膜移植とアイバンクの啓発、普及を行うために設立された非営利の公益法人です。

